

(4) 情報伝達・共有のあり方の見直し

経営トップと現場とのコミュニケーションの改善

〔安全諮問委員からの主なご意見〕

- ・ 安全性向上計画の現状の総括の課題として「経営トップは把握していなかった」とあるが、
 どのような点を把握していなかったのか。本来どのような意思疎通のルートを持っていたのか、
 そのどこがまずかったのかを検証し、改善を図るべきである。

安全諮問委員会としての提言事項

経営トップと現場とのコミュニケーションの問題点について、本来の意思疎通のルートを検証し、改善のための仕組みづくりを行うこと。

〔提言に対するJR西日本の実施・検討状況〕

・安全ミーティング等の実施

平成17年6月から8月にかけて、本社・支社幹部と現場社員が直接意見交換を行う「緊急安全ミーティング」を実施。9月以降は「安全ミーティング」として継続して取り組んでおり、その場で受けた社員の声については、業務に反映すると共に、社員にフィードバックしている。

・社長特別補佐による問題点の解決指示

平成17年6月20日付けで4名が着任し、現場社員との意見交換などによる日常業務における実態から問題点を把握し、安全推進会議において関係箇所へ改善指示を行っている。

・安全に係る改善制度の実施

安全に係る社員からの提案が必ず支社長に伝わる制度を、平成18年4月から実施。